



# 日本の緑化事情 / 植物の品種選択のポイント

緑化が義務づけられたり、緑化のメリッとする中、新築案件では様々な箇所に緑化が施されるようになってきています。しかし、緑化が決まるとおくと、ポントはありませぬ。植物ですと、色々な意味で「その地に合わないもの」で施工してしまったり、枯れ角の施工が無駄になってしまめ、植物選択にも費用面だけでなく、様々な検討が必要ですね。

◆環境に適する植物  
緑化というものは植物です。つまり生き物です。環境に合った品種を選定する必要があります。耐寒・耐暑・耐乾性・耐風性・耐潮性などを考慮する必要があります。

◆メンテナンス性  
当然ながら置いて終わりにしてはなりません。環境に適する事と似通った部分があります。灌水の頻度や除草なども考慮しなければなりません。

苗を直に植えるには種を自ら育てる必要が必ずあります。基本的にはシステム緑化というパレットを使用します。

これらの緑化システムも、植わっている品種などかなりの種類が固定されています。固定の問題も、台風などによる風の対策も必要になってきます。こういって決まらな素ももった決まらなければなりません。

これらを総合的にいところ取りをしたものが、システム緑化になります。色々な種類があります。

価格を優先させた場合、色々な場所だけに適応できるようなものをこのらを選定するの夫をこらしたもので、環境を選定するの境やメンテナンス性を考慮して決定する、最大限、うまく運用できる確率が高くなると思えます。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

## スタッフ紹介

大日化成に入社して驚いたことは、製品の充填をすることです。製品の充填をするのにも体力が要り、ばててしまったり、たくさん失敗して先輩方に迷惑ばかりかけておりました。最近では硬化剤製造の担当を任せられたり、原料や資材の発注したり、棚卸しをしたりと少しは役に立っているかと思えます。

まだまだ作業が遅かったり、発注を忘れそうになったり、原料や資材の名前がわからなかったり、まだまだ半人前です。が、いずれはすべての製品の製造が出来るように頑張っていきたいと思います。



岡山工場 製造部 井上

昨年5月に岡山工場製造部に入社いたしました。井上と申します。入社して1年になり、少しずつですが仕事の内容を覚えてきたように思います。

大日化成に入社して驚いたことは、製品の充填をすることです。製品の充填をするのにも体力が要り、ばててしまったり、たくさん失敗して先輩方に迷惑ばかりかけておりました。最近では硬化剤製造の担当を任せられたり、原料や資材の発注したり、棚卸しをしたりと少しは役に立っているかと思えます。

まだまだ作業が遅かったり、発注を忘れそうになったり、原料や資材の名前がわからなかったり、まだまだ半人前です。が、いずれはすべての製品の製造が出来るように頑張っていきたいと思います。

## DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F  
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

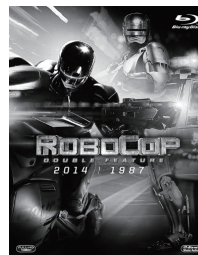
大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も  
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

## 映画で学ぶ 環境問題



ロボコップ (2014 版)  
原 題 : RoboCop

監督 : ジョゼ・パジーリャ  
脚 本 : ジョシュア・ゼトゥマー  
出演者 : ジョエル・キナマン  
ゲイリー・オールドマン  
マイケル・キートン  
サミュエル・L・ジャクソン  
上 映 : 117分  
制 作 : ストライク・エンターテインメント  
公 開 : 2014年

都市伝説のようなこの話こそ日本政府が現実に進めている「ムーンショット計画」です。これは「人類のロボット化計画」であり、国民にAIやチップを埋め込むプロジェクト。2030年を起点に50年間は「ゆりかごから墓場まで」人類がパートナーAIやロボットと共存するのが目標で、これこそ、政府が「新しい生活様式」をさかんに言う理由でもあります。

当初はスマートウォッチや労働現場でのロボットスーツなど、苗を直に植えるには種を自ら育てる必要が必ずあります。基本的にはシステム緑化というパレットを使用します。

苗を直に植えるには種を自ら育てる必要が必ずあります。基本的にはシステム緑化というパレットを使用します。

「いづれ人類は、AIやロボットになつたか、サイボーグになるのです。政府の手によつて。」

都市伝説のようなこの話こそ日本政府が現実に進めている「ムーンショット計画」です。これは「人類のロボット化計画」であり、国民にAIやチップを埋め込むプロジェクト。2030年を起点に50年間は「ゆりかごから墓場まで」人類がパートナーAIやロボットと共存するのが目標で、これこそ、政府が「新しい生活様式」をさかんに言う理由でもあります。

「夢の技術」といった文言を、どこかで見たことがありました。

「夢の技術」といった文言を、どこかで見たことがありました。

政府は国民にしっかりと伝えるべきでしょう。

政府は国民にしっかりと伝えるべきでしょう。